

私鉄沿線スケッチの旅

田園都市を走る爽やか列車

流鉄(旧 総武流山電鉄)

グラフィックインタビュー

タレント・渡辺正行さん



ゆ

と

り

特集

歴史の舞台に行く

東金御成街道

(船橋市—東金市)

2009年
春夏号
No.52

京葉銀行

吉保八幡の やぶさめ



出来栄え占う 勇壮な神事

県

内では珍しいやぶさめの一つで、9月最終日曜日（今年は27日）に吉保八幡神社の祭礼で行われます。起源は定かではありませんが、寺伝によれば鎌倉時代中期にさかのぼります。

約210mの馬場を疾走しながら、3つの的をめがけて矢を放ち、それを3回繰り返します。ほかのやぶさめと異なる点は、的までの距離が長いことです。これは、吉保八幡のやぶさめが単に武芸としてではなく、五穀豊穡を願って農作物の出来栄えを占うことが第一の目的であるからです。的に当てることより、放った矢の当たり外れによって天からのお告げがもたらされる、と考えていたからです。的が外れることも大きな意味があるのです。

騎乗する欄宜（神職）は、1週間ほど前から厳格な精進潔斎（しょうじんけさい）といって、酒や肉食を慎み沐浴（もくよく）する慣わしがあります。県指定無形民俗文化財。

【Memo】

場所／鴨川市仲
交通／JR安房鴨川駅から金東行きバスで20分、吉保下車。鴨川市街から長狭街道を西へ約8km。保田、金谷方面から長狭街道を東へ約20km
お問合せ／鴨川市郷土資料館
鴨川市横渚1401-6 ☎04-7093-3800
市内の歴史、民俗、考古、自然などに関する資料の収集保管。郷土が生んだ欄間彫刻師・波の伊八、歌人古泉千槿の作品を展示。
開館時間 9:00～17:15
休館日 月曜日、祝日の場合は翌日、年末年始
交通 JR安房鴨川駅から徒歩15分
日東交通バス市役所下車
入館料 一般200円（団体140円）、小・中・高校生150円（同100円）

2 ぼろそり祭時記

◇吉保八幡のやぶさめ「出来栄え占う勇壮な神事」

4 グラフィックインタビュー

タレント・渡辺正行さん



7 書の風景

正岡子規の短冊(成田山書道美術館)

8 ふるさと味紀行「早春の色と香り。草もち」

山中幸子さん(野田市)

9 小説風土記

椎名 誠「思い出の花見川をカヌーで下る」

文・中谷順子(詩人・日本文藝家協会会員)

10 情報Capsule

利根川の舟運復活へ「利根川舟運・地域づくり協議会」

今夏注目の企画展を開催「千葉県立現代産業科学館」(市川市)

鶴泉堂菓子店が国の有形文化財に登録「店舗兼主屋と石倉庫」(匝瑳市)ほか

12 特集

歴史の舞台を行く

東金御成街道(船橋市—東金市)

徳川家康ゆかりの街道 造成の本当の理由は?

文・山本光正(国立歴史民俗博物館研究部歴史系・総合研究大学院大学文化科学研究科教授)

東金御成街道全長37km沿道の見どころ

18 私鉄沿線スケッチの旅

田園都市を走る爽やか列車 流鉄(旧 総武流山電鉄) スケッチ・本橋尚徳
旅は道づれ「名物にうまいものあり」

22 健康エクササイズ◇ウォーキングで心身共に健康になろう

文・黒岩 康(NPO法人千葉県ウォーキング協会)

24 スポーツドクター◇水泳の障害

文・落合信靖(千葉大学医学研究院整形外科 助教)

25 生活習慣病と食事◇メタボリックシンドロームを予防する食事

文・江尻喜三郎(社団法人千葉県栄養士会理事)

26 おとなの休日 山川圭子さん(船橋市)

フラダンスの世界女王 ソロ部門で日本人初の快挙

28 オープンカレッジ 川柳／短歌／俳句

選者●川柳 平井吾風 短歌 秋葉四郎 俳句 名取里見

31 おもしろ工場体験記

日本刺繍工房 紅会(東金市家徳)

京葉銀行の税務相談会



写真提供：鴨川市教育委員会



根はきまじめなお笑いタレント

——今回は、テレビでおなじみの渡辺正行さんです。よろしくお願ひします。渡辺さんは、いすみ市のご出身？

渡辺 昔の夷隅町荻谷で、高校卒業までいました。

——ご実家は？

渡辺 今も兄が地元で焼き鳥屋「みずほ」をやっています。

——ラーメンが有名ですよ。

渡辺 はい、ラーメンがお勧めの焼き鳥屋です（笑）。

文武両道の少年時代

——幼少時代のことについてお伺ひします。

渡辺 かいつまんで…（笑）。小学校低学年の時、国吉小学校にはプールがなくて、近所の夷隅川で泳いでいておぼれ、死にかけました。隣の「ひさよしちゃん」というお兄ちゃんに助けられ、ひさよしさんは命の恩人です。

——他にはどんな遊びを？

渡辺 田んぼの中で泥んこ遊び。泥団子を作って戦争ごっこ。日が暮れるまで遊んでいました。子供時代、外にあるものは何でも工夫して活用し、子供たちなりのルールを作って遊んだものです。楽しいことは進んでやる積極的な、ときに脱線するような子供時代で

した。おかげで学校の教室では一番前の席で、先生の目の前でした。

——特等席だったのです。

渡辺 いや特別席です。目を離さないように、いたずらしないように、先生のご配慮です（笑）。

国吉中学校では剣道部に入りました。なぜか、その頃から成績がぐんぐん上がりまして、通知表は4と5ばかり。そんなに勉強をした記憶はないんだけど…。ただ5つ離れた高校生の姉ちゃんが、深夜放送を聴きながら勉強していた。僕もそのラジオを聴きたくて、そばで勉強をしている振りをして聞いていました。どんな番組だったかは忘れましたが…。今思うと中学生になってからは剣道の傍ら多少勉強もしていたんですね。物事は努力をすれば良い結果が出ることを、その時に知りました。

——それ以降は努力の人？

渡辺 そうはうまくいかないのが人間の、いや僕の常（笑）。普段は剣道に明け暮れていました。剣道部に若くて情熱的な先生が赴任して来られ、徹底的に練習させられました。まさしく文武両道でした（笑）。

乗り遅れてヒッチハイク

——爽やかで成績優秀な少年が、県

グラフィックインタビュー

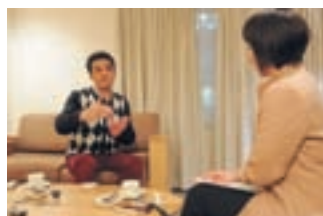
渡辺正行

わたなべ まさゆき

1956（昭和31）年、千葉県いすみ市（旧夷隅町）生まれ。県立大多喜高等学校卒業。明治大学入学。落語研究会に所属し紫紺亭志い朝（六代目）襲名。劇団養成所入所中に「コント赤信号」を結成。テレビ、ラジオ、映画、舞台に大活躍。現在「関口宏の東京フレンドパークII」（TBS系）や「さんまのスーパーからくりTV」（同）などレギュラー番組4本。著書に絵本「さよならってなんだろう」（双葉社）ほか。

インタビュアー・一瀬友里

フリーアナウンサー。千葉テレビのニュース番組「C-master」（月～金21:00～）など、多数局の番組担当。



県立大多喜高等学校1年の時

渡



TBSでの収録を終えて近くのホテルでくつろぐ渡辺さん

でした。高校時代も同じで、明るくまじめなスポーツ青年でした。

——そして東京へ。

渡辺 明治大学を受験したのもただ東京へ行きたい一心から。大学では落語研究会に入会。スポーツ系よりも楽しそうだし、気ままに遊べそうという軽い気持ちでした。入ってみると上下関係は厳しく、落語の何たるかを勉強する硬派なサークルでした。これは僕には向かないと思っていた矢先、先輩から教室で落語会を開くからと誘われ、それを見て落語の面白さに圧倒されました。落語を披露してくれたのは、NHKテレビ「たむしでガッテン」の名司会ぶりで知られる立川志の輔さんでした。それは見事な話芸でした。その先輩に三宅裕司さんがいました。

この世界を目指している人たちに出会って大いに影響を受け、芝居をやりたいと劇団養成所に入所。そこで一級上のラサール石井、同級の小宮（孝泰）君と出会い「コント赤信号」を結成しました。それはあくまでも芝居の勉強のためでしたけど…。

3人でコントを作っては大学の文化祭を回った。そのうちストリップ劇場の話が舞い込んできました。お芝居で舞台に立つのには時間もかかり、お金も大変です。ストリップ劇場ならば、毎日のように板の上に立てますし、ギャラもいただけます。当時、人気の

下でも名門の県立大多喜高校へ入学。

渡辺 当時の木原線を通いました。朝8時02分発の電車です。僕は電車と呼んでいましたが、後に東京へ出て初めて知りました。あれは電車ではなくディーゼルカーだったことを。自転車で7時50分に家を出ないと学校に間に合わない。7時に起こしてくれるように頼んであったが、おふくろは「遅れでも私のせいではない。一度は起こしているのだから」と。

朝飯も食わずに駅へ直行するが後の

祭り。8時半の大多喜行きバスがある

が、8時45分までに教室に入っていないといけない。仕方がない。例の手を使おうと、道行く車を止めてヒッチハイク。それも2度や3度ではない。

——よく止まってくれましたね。

渡辺 木原線の電車も止まってくれましたよ。発車しても運転手さんと目が合えば15秒くらい待ってくれました。

——地元では、ほのぼのとした生活だったんですね。

渡辺 中学まで町の外へ出たことがな

かった。朝練があつて、放課後にはまた剣道の練習です。それにテストの勉強ですから遊ぶ暇はありません。ただ

一度、隣町の大原に映画館があり、子供3人で電車に乗って映画を見に行きました。映画が百円か2百円、木原線が60円、ラーメンが一杯百円。4百円を後生大事にポケットに入れ、「クレージーキャッツの大冒険」という映画でした。ラーメンを食べて帰ってくる、ただそれだけのことですが、自分たちにとっては映画の題名のような大冒険



■Information

名称：有限会社なべや

電話：03-3401-7729

FAX：03-3401-7791

所在地：東京都港区赤坂9-5-26 パレ乃木坂404

<http://www.nabe-ya.com/>

ゆーとびあさんにも誘われ、ライブのステージに立たせていただきました。

周りからの協力やお誘いをいただき「花王名人劇場」にも出させていだき「花王名人劇場」にも出させていただきました。これがコントとしてのデビューです。やがて「MANZAIブーム」をはじめ、お笑いブームが訪れ、「コント赤信号」はテレビ、ラジオ、舞台に引っぱりだこの忙しさでした。

涙の奥で味わう 昔の食べもの

——その後の活躍は誰もがご存知なので、ほんの少しだけプライベートなことをお尋ねします。99年に結婚し、翌年にお嬢さんが生まれてからは、すっかり良き家庭人になられて…。

渡辺 たまの休みに娘と一緒に公園に行くと、一生懸命に白い小さな玉を

拾っているのです。ビービー弾というやつです。娘に「そんなもの拾って帰ってどうするの」と尋ねるが、娘にしてみれば今の時点ではそれが一番魅力的で不思議なものらしい。そう言えば僕も子供のころ、ゴミ捨て場に寄ってはガラスの破片などを拾って帰り、自分の棚に飾ったりしたものです。

子供のころは、たまに店屋物、ラーメンとかでもナルト、シナチュク、メンマ、ほうれん草などがきれいに揃っているだけで、もうドキドキです。ところが自分の娘は、店屋物をとってもあまり感動しないし、喜びを表に出しません。ご馳走と思えるものが食卓に並んでいても、あまり興味を示さない。あれもこれもと与え過ぎるのは、良くないのかもしれないね。

——たまの店屋物はうれしいもので

すよね。

渡辺 この間、アジの南蛮漬けが好きなことを知っていて、兄貴の嫁さんが作ってくれました。その時、メンのような焼きソバのような、不思議な食べものが出されました。兄貴の説明によれば、インスタントラーメンの汁のないうなぎで、汁がなくなるまで煮てふやかしたものです。口に入れたとたん思い出しました。おふくろが作って子供たちの飯のおかずにしてきたものだ、と。兄に言われて嫁さんが用意したのでしょうか。その味は大人になった今でも、涙の奥で覚えていてます。

トマトもごちそうでした。輪切りのトマトに砂糖をかけ、最後に残った甘い汁を誰が飲むか、兄弟中で争ったものです。食べものの思い出は、当時の情景や匂いまでも思い起こさせます。うちの子なんか大人になって、どんな食べものを思い出すのかな。たまに食べるハンバーガーでしょうか。

青い空、白い雲が僕の原点

——お子さんを連れて夷隅へお帰りになったらどうですか、渡辺さんにとって、ふるさと千葉県とは？

渡辺 たまに帰る田舎には、まだまだ青い空、白い雲、そして緑の山並みが残っています。初夏には、やさしく柔らかない早苗がどこまでも広がり、その美しさに感動します。感傷ではなく実

感です。そういう夷隅に生まれたことを誇りに思えるようになりました。

自分でもお芝居を書いたり、絵を描いたりしますが、芝居では必ず卓袱台（しやくぷくだい）を使う家族が登場するようなシーンが出てきます。別に意識してはいないのですが…。絵を描く場合にも、必ず緑が背景になっていたり、全体のテーマになっていることが多いですね。

そんな家族や緑に包まれた田舎の風景が、自分の基本になっているのかもしれない。

自分に田舎があること、田舎で遊んだ経験があることは幸せなこと。自分の子にも、できれば田舎を体験させてやりたいと思っています。

——それが渡辺さんの原点になっているんですね。現在、若手のお笑い芸人の育成にも積極的なようですが…。

渡辺 86年から「ラ・ママコント新人大会」を主宰しています。これは所属事務所の手取り払った門戸の広いお笑いライブで、過去にはウッチャンナンチャン、ダチョウ倶楽部、爆笑問題、海砂利水魚（現・くりいむしちゅー）など、現在大活躍中のお笑い芸人たちが多数出演したほか、大勢の若手芸人に活躍の場を提供しています。これからは後進の育成に力を入れていきたいと考えています。

——長時間にわたり、ありがとうございました。

書の風景◎正岡子規の短冊

■成田山書道美術館

大漁の 鰯拾ふて 戻りけり

子

規は、そう長くない生涯で約2万4000もの俳句を作っています。うち3割が秋の句です。掲出句は、子規が房総旅行を終えた後の1899（明治32）年秋に発表された句です。

大学在学中の1891（明治24）年3月、子規は8泊9日の日程で房総一人旅に出発。千葉県内に鉄道が敷設される以前のこと、しかも病を抱えての強行軍です。その足取りをたどってみると、3月25日に市川八幡、船橋、



子規自画像

大和田（八千代市）。26日には白井、佐倉、成田、酒々井。27日は千葉、寒川（千葉市）、潤井戸（市原市）、長柄山。28日には長南、大多喜。29日に小湊、誕生寺、天津。30日に和田、平磯（旧千倉町）。31日に野島崎灯台、館山。4月1日に那古観音、鏡ヶ浦、船形観音、諏訪神社（以上館山市）、加知山（鋸南町の旧藩名）、保田。2日には羅漢寺、鋸山を経て船で東京へ。

身支度は着物に振り分け荷物、脚半にわらじばき。3日後、千葉に着くなり写真館で撮影。裏には自筆で「明治二十四年三月二十七日 千葉に於いて撮影す」と署名。市川で買った蓑笠と細い竹のつえが握られています。この旅で子規は14句のうち「鰯」を季題として13句作っています。

ノーベル賞作家・大江健三郎氏によれば、子規は「歩く人」であり子規の文学のほとんどが旅の表現である、と。

3年後の1894（明治27）年12月下旬、開通したての総武鉄道を利用して本所（両国駅）から千葉を経て佐倉を訪ねています。鉄道マニアといわれる子規は、翌年3月3日に汽車で大阪、神戸、広島を訪れますが、日清戦争の従軍記者として広島から船で大陸へ渡るためでした。病は待ったなしで、翌月には日本へ送還。10月26日、幸いにも奈良、東大寺、薬師寺、法隆寺に遊び、誰もが知る「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」の名句が誕生します。

【成田山書道美術館】

場 所／成田市成田640
（成田山公園内）
TEL.0476-24-0774
開館時間／9:00～16:00
休 館 日／月曜日（祝日の場合は翌日）展示替期間
入 館 料／大人500円（350円）
高・大学生300円（200円）
小・中学生 無料
※（ ）内は団体料金
<http://www.naritakanko.jp/naritashodo/>

写真提供：成田山書道美術館（短冊）
松山市立子規記念博物館（自画像）

掲出句は明治時代を代表する文学者の一人、正岡子規の秋の一句です

早春の 色と香り。 草もち



材料（8個分）

米粉	500 g
熱湯	500cc
もち草（よもぎ）	150 g 位（好みで加減）
重そう	少々
あん	（小豆 500 g 砂糖 500 g 塩 5 g）
きな粉	適宜
（きな粉、砂糖、塩は好みで加減）	

作り方

- ① あんを作っておく。小豆をゆで、あく抜きをして、柔らかくなるまでゆで、塩、砂糖を入れて煮詰める（1個あたり45g位）。
- ② 米粉に熱湯を入れてこねる（耳たぶ位）。
- ③ まとまるようになったら、一握りくらいの大きさにちぎり、鍋に並べて20～25分位蒸す。
- ④ よもぎは重そうをいれてゆでておくとも良い。
- ⑤ 蒸し終わったらよもぎを入れ、草をつぶすように練りこむ。（初めにつぶしておくとも良い）
- ⑥ まとまり始めたら、一度冷水に浸し、急激に冷やしてもう一度、引き上げてつきます。（少しならば、すりこぎ棒などでもつけます）
- ⑦ 前の作業（⑥）が出来たら好みの大きさ（45～50g位）にちぎり、①を入れ丸めて出来上がりです。

●お問合せ
山中幸子・直売所「やまなか」
所在地／野田市木間ヶ瀬
電話／04-7198-1397

ち ばのふるさと自慢「草もち」は、早春を代表する和菓子のひとつです。山中幸子さん（野田市）がつくる草もちは、爽やかな色と香りが特徴です。甘さを控えた北海道・富良野産の小豆が春の香りに良く合います。よもぎは、山形から取り寄せた特注品。自家製の米子と良くなじみ、食感は最高です。毎年、桃の節句から4月中旬位まで製造し、直売所「やまなか」で販売されています。あんなしも人気で、きな粉や白砂糖との相性は抜群です。製造者の山中さんは、千葉県
の支援事業「多彩なちばの女性起業活動」に参加している一人です。

椎名 誠 (一九四四～)

思い出の花見川をカヌーで下る

東

京都世田谷区生まれの椎名誠が、千葉市幕張の幕張中学校そばに引越してきたのは小学校低学年の頃。父母、父の仕事を手伝う長兄、高校生の姉、中学生の兄、誠、

弟の計七人家族でパチという犬と一緒に下した。

西を流れる浜田川は小学校時代の遊び場。『天の系譜』（講談社・吉川英治文学新人賞受賞）には鮎（あな）タナゴ、カ

ンニョロ、蜆（しじみ）、タニシ、ヤゴ、メダカ、蛭（ひる）がいて野蒜（のびる）、蒲（かま）の穂、菖蒲（しょうぶ）が生えていたと書かれていま

冒険家の野田知佑さんとカヌーで下った花見川（写真下が東京湾・河口方面）

そして、東を流れるのが花見川。花見川は幕張の海とともに椎名文学を形成する重要なホームグラウンドです。代表作『哀愁の町に霧が降るのだ』にも、花見川土手でプロレスのバトルロイヤル（レスラーが全員リングに上がり入り乱れて闘う）を真似るシーンが描かれ、「ものの五分とかからないうちに、コバヤシと小島と桜井、そしておれの四人が残った」と、その熱血ぶりが愉快に語

られています。文中の桜井とは中学の同窓で、のち東京オリンピックでボクシング選手として活躍する米倉宝二（たねくらたけふ）さんのこと。

椎名という決闘と喧嘩ばかりしていたと思われがちですが、こうした仲間たちとの交流のほとんどは、椎名の市立千葉高校時代や卒業後も続き、椎名たちが創刊する『幕張じゃーなる』にも名を連ねていて、いわば文武両道のつわものたちです。『哀愁の町に霧が降るのだ』に登場するあの『克美荘』の、怪しい四人の住人の一人・高橋勲も小・中学生からの友人。あとの三人は『本の雑誌』でおなじみの沢野ひとしと木村晋介と椎名ですが、沢野は高校の同級生、木村は沢野の親友でした。

椎名は学生時代からの友情を大切に育み、文学に結晶させた作家なのです。そして、純情硬派の椎名が憧れのマドンナとデートするのもこの花見川。

高校時代を描く小説『麦の道』で『羽生』の名で出てくるのがそのマドンナ。『麦の道』では多摩川を歩く設定に変えられています。

そんな思い出の花見川をカヌーで下

るのは昭和五十八年晩秋のこと。冒険家の野田知佑（ともすけ）さんと二人で、印旛沼から下り、初恋の人と歩いた花見川に涙ぐみ、海へと辿りつきます。幕張の海は埋め立てられ人工海岸となり、すっかり様変わりしているものの、ナマリ色の海や空に懐かしい幕張の海を思い出し、「その色こそが、ぼくの知っている千葉の海の色だった。」と叫ぶ話

が、『はじめての川くだり』に書かれています。

中谷順子・文

日本文藝家協会、日本ペンクラブ、日本現代詩人会会員
千葉県詩人クラブ・前会長。『覇気』主宰
千葉市花見川区在住

●著書

詩集「白熱」「破れ旗」
郷土文学「房総を描いた作家たち④」
評論「現代詩・十人の詩人」
共著「房総学検定」

利根川の舟運復活へ

利根川舟運・地域づくり協議会

江戸時代に栄えた利根川の舟運を再び復活させ、周辺地域の活性化を図ろうとする事業が動き始めました。これは国の「地方の元気再生事業」の一つで、千葉と茨城両県の利根川流域19市町村で組織する「利根川舟運・地域づくり協議会」(代表・藤井信吾取手市長)が発足。昨年秋から大型船を借り上げてモニタリングツアーを実施するなど、好評の試験運行に続いて定期運行の実現に向け船着場の整備を計画しています。利根川沿いの名所探訪マップの作成や名物料理の開発など、協議会では検討を重ねています。

data

利根川舟運・地域づくり協議会(取手市建設部水とみどりの課内)
☎0297-74-2141(内線1560)
<http://www.city.toride.ibaraki.jp/>



写真提供：株式会社ラクスマリーナ

今夏注目の企画展を開催

千葉県立現代産業科学館(市川市)

今年は「世界天文年」。ガリレオ・ガリレイが望遠鏡で星を観察してから400年にあたります。これを記念し、千葉県立現代産業科学館では企画展「もっと星が見たいー望遠鏡とスーパープラネタリウムー」を開催。ガリレオが初めて星を観察した1609年から今日までの「星空を見る技術」、星図やプラネタリウムの「星を再現する技術」などが紹介されます。また最新鋭のプラネタリウム上映会も実施されます。



写真提供：千葉県立現代産業科学館

data

所在地／市川市鬼高1-1-3 ☎047-379-2005
交通／JR総武線本八幡駅・下総中山駅・京成鬼越駅から徒歩。本八幡駅北口よりシャトルバス(無料)
入館料／一般300(500)円、高・大学生150(250)円、中学生以下・65歳以上無料。()内は企画展開催中の料金
休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、メンテナンス日
<http://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/>

「里山セット」が農林水産大臣賞

みんなみの里の地産地消メニュー(鴨川市)



写真提供：みんなみの里

みんなみの里が販売する「里山セット」が、このほど農林水産省主催の「地産地消給食等メニューコンテスト」の外食弁当部門で、全国トップ賞の農林水産大臣賞を受賞しました。受賞した弁当は、古代米のおにぎり、旬の地元野菜を使ったてんぷらの盛り合わせと含め煮、ハヤトウリの甘酢漬けなどをセットにしたもの。てんぷらには小麦粉の代わりに地元長狭米の米粉、みそ汁には塩分控えめの米みそを使用しています。価格は1,000円。

data

所在地／鴨川市宮山1696 ☎04-7099-8055
営業／9:00~18:00(2月~10月)
交通／君津市方面から国道410号で長狭中学校から約300m
<http://www.minnami.com/>

鶴泉堂菓子店が国の有形文化財に登録 店舗兼主屋と石倉庫(匝瑳市)

同市八日市場イの「鶴泉堂菓子店店舗兼主屋」と「鶴泉堂菓子店石倉庫」が歴史的景観に寄与しているものとして、国の登録有形文化財（建造物）に認められました。店舗兼主屋は昭和初期の建築。間口は6.6m、奥行10m、面積69㎡の木造2階建て。石倉庫は1925（大正14）年の建築。地上2階、地下1階建てで、面積は20㎡。大谷石の柔らかい風合いが落ち着いた景観をつくっているといわれています。店舗、石倉庫とも各所に良質な材料を使い、屋号の「鶴」をあしらった瓦や雨どいが見られます。

data

所在地／匝瑳市八日市場イ2871

交通／JR総武本線八日市場駅から徒歩約5分

お問合せ／匝瑳市教育委員会生涯学習課 ☎0479-67-1266



写真提供：匝瑳市教育委員会

好評のギャラリーいたぶ ボランティアの協力で完成(市原市)

桜が盛りの小湊鉄道飯給駅前に「ギャラリーいたぶ」がボランティアグループ「市原ルネッサンス」(山川建夫代表・会員22人)の協力でオープンし、養老渓谷を訪れる観光客に好評です。同ギャラリーは、ボランティアグループの一人で所有者の好意により無償で店舗を借り、グループ全員で改装したものです。オープン以来、飯給を拠点に制作活動を続ける洋画家・前田麻里さん(写真)の絵画や、自らが撮影した飯給駅の写真などを中心に展示しています。



写真提供：市原ルネッサンス

data

所在地／市原市飯給943-9

交通／JR五井駅から小湊鉄道に乗り換えて約47分

開館／原則として土、日、祝日の10:00～16:00

お問合せ／市原ルネッサンス事務局

松本靖彦氏 ☎090-8843-2364

千葉市産米で造った 千葉の酒

ふるさと産品に純米吟醸酒 「千の舞」(千葉市)

千葉市産初の日本酒「千の舞」ができました。今年1月購入希望者を募集したところ、多くの応募があり20年度は完売。日本酒造りは、同市若葉区の農業・農村の活性化に取り組むグループが「市内産の酒米で日本酒を造ろう」と提案。千葉市などの支援を得て「千葉市オリジナル日本酒作り実行委員会」が設立され準備を進めてきました。「千の舞」は同市若葉区中田町の農家の水田で酒米を減化学肥料・減農薬で栽培し、佐倉市の酒蔵「旭鶴」で醸造したものです。21年度も引き続き生産・販売をしていく予定で、3月から酒米の育苗を始めます。詳しいことは実行委員会事務局（千葉市農政課 ☎043-245-5757）まで。



写真提供：千葉市農政課

情報capsule

特集

歴史の舞台を行く

東金御成街道〈船橋市・東金市〉

徳川家康ゆかりの街道 造成の本当の理由は？



徳川家康公像 (旭市・熊野神社蔵)

船

橋から東金に達する東金御成街道は、徳川家康の命により造成された全長約37km余の直線状の街道です。千葉市御殿町には将軍休泊用御殿の遺構が残っていることなどから、千葉市のシンボルの一つになっています。

御成街道とは将軍が御成りになる街道ということ。御成街道と呼ばれる街道はほかにもあり、区別するため現在では東金御成街道と称しています。しかし、東金御成街道は地元の人々に「御成街道」で親しまれているので、ここでは「御成街道」とします。

御成街道の道筋

御成街道は船橋市前原一丁目の辺りで成田街道(国道296号)から分岐して県道旭船橋線に入り、総武線のガードを潜って直線状に進み、長沼十字路で主要地方道浜野四街道長沼線と名称を変えます。

長沼原町のバス停を過ぎた辺りで御成街道は主要地方道と分かれて直進しますが、約2・5kmにわたって道は消

德川家康

初代
徳川家康
とくがわ いえやす

側室
養珠院

二子
徳川秀忠
ひでたか

三子
徳川家光
いえみつ

四子
徳川家綱
いえつな

五子
徳川綱吉
つなよし

六子
徳川家宣
いさのぶ

七子
徳川家継
いえつぐ

八子
徳川吉宗
よしむね

九子
徳川家重
いえしげ

十子
徳川家治
いえはる

十一子
徳川家斉
いえなり

十二子
徳川家慶
いえよし

十三子
徳川家定
いえただ

十四子
徳川家茂
いえもち

十五子
徳川慶喜
よしゆき

正室
崇源院

側室
宝樹院

側室
寶台院

側室
順性院

側室
甲府宰相綱重

側室
深徳院

側室
至心院

側室
浄観院

側室
天璋院

側室
深心院

側室
一ツ橋徳川家宗伊

側室
慈徳院

側室
香琳院

側室
本寿院

側室
実成院

側室
静寛院

側室
頼房

側室
水戸徳川家

側室
紀伊徳川家頼宣

側室
妙操院

側室
齊順

A map showing the route from Tokyo to the end of the Oshino-Hyakudai trail. The route is marked with a red line and dots, starting from '船橋大神宮 (起点)' (Futatabi Daishinmyo (Starting Point)) and passing through '船橋御殿' (Futatabi Go-den), '輪王道標' (Rinwa Michirushi), '実初一里塚' (Jitsuhatsu Ichirizuka), '子安神社' (Koan Jinja), '御滝神社' (Mitsukawa Jinja), '千葉市' (Chiba City), '御成街道' (Mitsukawa Kaido), '金光院' (Kinko-in), '御茶屋御殿' (Mitsukawa Go-den), '椎の古木' (Tsui no Furuki), 'コノレイ坂' (Konorei-zaka), '東金市' (Higashikane City), '東金御殿' (Higashikane Go-den), '東金御殿表門跡碑' (Higashikane Go-den Uchi-mon Arai Ise no Ishi), and ending at '大網白里町' (Onari Shirayama Town). The map also shows major roads like the 293, 51, 357, 14, 123, and 16, and various landmarks like '船橋市' (Futatabi City), '佐倉市' (Sakura City), '四街道市' (Yokkaichi City), '八街市' (Yatsuhashi City), '市原市' (Ichihara City), and '大網白里町' (Onari Shirayama Town).

鷹狩りの理由で
造られた御成街道

御成街道は船橋から東金まで全長約37 km。しかも街道のほとんどが直線状の街道です。一般に道は自然地形を巧みに利用して通じており、どうしようもない所は新たに道を造り橋を架けています。御成街道のような長距離にわたる街道が、なぜ造成されたのでしょうか。

13 ゆとり

家康が東金へ初めて御成りになるので、新道を開いた」とあります。家康が東金へ来たのはこの時が初めてではありませんが、こうしたことから1614（慶長19）年に新道が造成されたといわれています。

江戸の防衛ライン

37km余に及ぶ新道を政権確立期の指導者である家康が、趣味の鷹狩りのためだけに造成したとは考えられません。新道造成については江戸の防衛についてもみておく必要があります。

1590（天正18）年家康は関東に移封され、1603（慶長8）年江戸に幕府を開きます。江戸の防衛は重要な課題ですが、防衛ラインとして西には箱根・丹沢・多摩・秩父の山岳地帯が天然の要害となります。これに対し東北方面は江戸川や利根川を防衛ラインとし、その前衛として1609（慶長14）年には御三家の一つである水戸藩を成立させています。

東北への道の南に位置するのが房総半島です。上総・安房は標高は低いものの山々が連なっています。海から見れば江戸への入口にあたり、制海権を握る軍事上重要拠点となるところです。しかも生産性の豊かな地でもあります。

この重要拠点に1610（慶長15）年、家康の信任厚い土井利勝が佐倉藩主として入封します。利勝の最大の役



輪王道標（船橋市前原東）
成田街道との分岐を示す道標で、左が成田、右が東金御成街道となります。



常磐神社（船橋市宮本）
船橋大神宮と呼ばれる意富比神社の境内東側にあり、御神体の家康の本像は二代將軍秀忠が寄進



船橋御殿跡（東照宮・船橋市本町）
家康は1615（元和元）年1月に1回だけですが、二代將軍秀忠は鷹狩りのたびに立ち寄ったといわれています



子安神社（習志野市藤崎）
道中、家康が休憩した場所。境内に咲く藤の花を見てこの地を「藤咲」と命名



一里塚（習志野市実初）
目印の椎の巨木。かつて京成大久保5号踏切のそばにありましたが、現在は習志野二中に移植



宝永四年四月 船橋御殿地絵図

（『船橋市史』前篇附図より）

割は、江戸から至近の地でもある房総を安定した地とすることであったと思われる。その最大の障害になったのが館山の外様大名・里見忠義です。館山は軍事上最重要地です。そのため忠義は1614（慶長19）年、伯耆倉吉に移されますが、実質的には取り潰しでした。忠義が領地返上を願い出ていれば、どこかで大名として存続したかもしれません。忠義は時代の流れを読み切れなかったのでしょう。

こうした時代背景の中で御成街道が造成されたわけです。御成街道は江戸から小松川・小岩を経て船橋に達する街道と接続して東金に至る軍事道路だったのです。そのため船橋、御殿町（千葉市）、東金には將軍休泊用の御殿が設けられたわけです。さらに、御成街道は東海道の平塚近郊の中原から武蔵小杉を経て、江戸に達する街道とも繋がっていたのです。

1614（慶長19）年には御成街道だけでなく、大多喜から長南に至る新道の造成も行っています。

軍事道路の御成街道

こうした一連の動きは、1614（慶長19）年11月に火蓋が切られる大坂冬の陣につながっていきます。推測になりますが、この時期の家康の動向や、東金に本多正信に付属した実戦的側近である高橋衆を置いたことなどが



御滝神社（千葉市稲毛区長沼町）



愛染山金光院延命寺（千葉市若葉区金親町）

家康が2回目の鷹狩りの際に宿泊した所。写真は御茶屋御殿の裏門と伝えられています



コンレイ坂の道標（東金市黒田）
コンレイ坂の淵に立ち、東金方向を示した文字が刻まれています



樹齢400年の椎の木（千葉市若葉区富田町）
一里塚と思われ、更科小学校富田分校近くの池田徹夫氏宅内



本漸寺（東金市東金）

家康手植えの蜜柑の木があります



御茶屋御殿跡（千葉市若葉区御殿町）



県立東金高等学校（東金市東金）

東金御殿は県立東金高等学校が建つ辺り一帯。面積は22,000㎡で、御休憩所や御鷹部屋など合計40部屋の広さ

ら、川と海に囲まれた房総を巨大な要塞に仕立て上げようとしたのではないかと考えられます。

御成街道はその巨大な要塞へ向かう街道であったということです。

その後の御成街道

江戸幕府が安定してくると、房総は軍事拠点から江戸への物資供給拠点へと軸足を移していきます。農産物・海

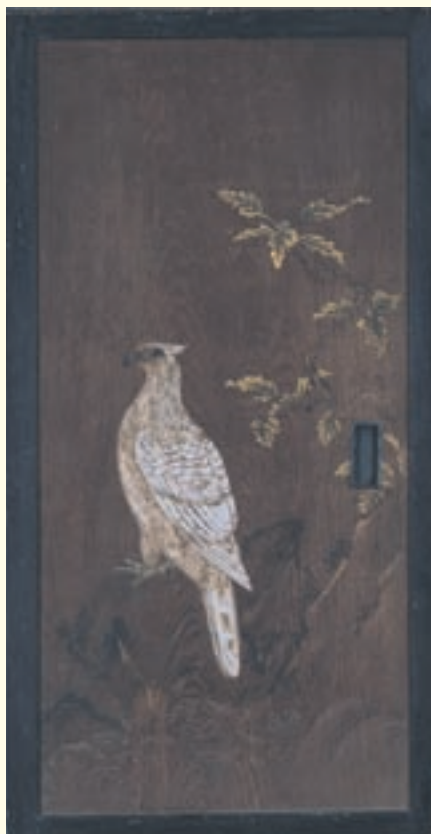
産物が江戸へと運ばれ、江戸市民の生活を支えたのです。特に薪炭類が大量に生産されました。江戸への物資は内房沿いの湊に集められ船を利用して運ばれました。

御成街道は直線状の道ではありませんが、湊に出るには不便であったため、御成街道の南を通る現在の東金街道が利用され、千葉まで物資が輸送されています。



東金御殿使用の襖

2枚4面の杉戸絵が保存され、鷹が描かれた貴重な襖。個人蔵



徳川家康略年表・東金御成り

和暦	西暦	月日	できごと
天文11年	1542年	12月26日	松平氏第8代当主・松平広忠の嫡男として岡崎城に生まれる
永禄3年	1560年	5月19日	桶狭間の戦い
5年	1562年	1月15日	今川義元が織田信長に討たれ清洲城に信長を訪問。同盟を結ぶ
元亀元年	1570年	6月28日	姉川の戦い
3年	1572年	12月22日	三方原の戦い
天正3年	1575年	5月	長篠の戦い
10年	1582年	6月2日	本能寺の変。家康、明智光秀を討つため尾張へ出陣
12年	1584年	2月27日	従三位参議
		3月～4月	小牧・長久手の戦い
		10月27日	豊臣秀吉に臣従。秀吉の妹を正室に。生母を人質として送る
慶長3年	1598年	8月18日	豊臣秀吉没(63歳)
5年	1600年	9月15日	関ヶ原で石田三成ら西軍と決戦。東軍の勝利に終わる
8年	1603年	2月12日	右大臣。征夷大將軍宣下、清和源氏長者宣下
		10月16日	右大臣辞任
10年	1605年	4月16日	征夷大將軍辞職。三男秀忠に將軍職を譲る。
15年	1610年	10/23～	源氏長者は留任
		1/8～17	秀忠(將軍)東金御成り
19年	1614年	10月	家康(大御所)東金御成り
			方広寺鐘銘問題。大阪冬の陣に20万人の大群で大阪城を攻める
元和元年	1615年	4月	夏の陣。
		5月	大阪城落城。豊臣秀頼・淀君自殺。
		7月	武家諸法度制定。禁中並公家諸法度制定。家康、秀忠と東下
		11/16～25	家康(大御所)東金御成り
2年	1616年	3月7日	家康、太政大臣
		4月17日	家康没(75歳)、久能山に葬る
3年	1617年	11月	秀忠(將軍)東金御成り
4年	1618年	10/29～11/12	秀忠(將軍)東金御成り
5年	1619年	11/21～25	秀忠(將軍)東金御成り
6年	1620年	9月16日	家光(將軍)東金御成り
		12/1～11	秀忠(將軍)東金御成り
7年	1621年	11/28～12/3	秀忠(將軍)東金御成り
9年	1623年	10月13日	秀忠(大御所)東金御成り
寛永2年	1625年	12月6日	秀忠(大御所)東金御成り
4年	1627年	11/22～12/3	秀忠(大御所)東金御成り
7年	1630年	11/18～12/3	秀忠(大御所)東金御成り



東金御殿表門跡碑 (東金市東金)
小川幸三郎氏宅に立つ記念碑

江戸時代初期に脚光を浴びた御成街道は、將軍が通ることなくなり、御殿を破却されて歴史の表舞台からは姿を消していきます。しかし、今もなお街道は三日三晩で造られたとか、夜は提灯の明りを目標に直線状の道を造成

させたという伝承や、家康をはじめとするさまざまな伝承の地が残っています。地元の人々は愛着をこめて御成街道と呼び、旧道歩きの一環として御成街道を歩く人々も増えているようです。

山本光正・文

国立歴史民俗博物館研究部歴史系
総合研究大学院大学文化科学研究科教授

本保弘文・指導

歴史研究家 著書に「東金御成街道を探る」「房総の東照宮」「東金御成街道史跡めぐり」など多数。